留学を終えて

2022 年度アメリカ長期留学生が1年間の滞在を終 えて無事帰国しました。5名のうち3名に経験や思い 出をつづってもらいましたので、ぜひお読みください。

7月末には 2023 年度留学生 5 名が旅立ちます。これからの1年がすばらし い経験と出会いに満たされるよう応援しています。

## 意いとう のどか 齋藤 和奏 (Sherry) 高森ハイスクール

バージニア州で留学生活を送り、自分の想像 よりもはるかに多くのことを学び、経験しました。 例えば英語学習。英語で意見を伝えることが難 しいのはもちろんのこと、単語を覚えるのが得意 でない私は、英文を読むのにも人の倍以上の時 間がかかり、苦手意識を持っていました。けれど も、英語の授業で単語を接頭辞・語根・接尾辞 に分解して意味を推測するという考え方を教わっ てから、長文にも以前より抵抗感がなくなり、知 らない単語を目にするとパズルゲームのような感 覚で、楽しさを感じています。

ホストファミリーとの時間も、貴重な経験の一 つです。単なる異文化交流にとどまらず、食事や 映画鑑賞といった日常を共に過ごす中で、日本 にいた頃は知らなかった自分の「好き」を深める ことができました。

留学を経た今でも、私の英語力はまだ十分とは 言えません。今後の英語学習の目標は、大好きな ホストファミリーと再会できた時に、留学時よりもた くさん話せるようになることです。



赤間 芽依先生 (Julia)

▼一緒に練習した陸上の仲間達と



### 鈴木 優太郎 (Billy) 高森プリミアハイスクール

約1年アメリカに留学して一番思い出深い のは、学校生活です。授業ごとに教室を移動し なければならないので初めのうちは慣れず、生徒 も入れ変わるので友達ができるか心配でした。で すが、周りの先生や友達が丁寧に接してくれて、 場に馴染むことができました。

また、私はクロスカントリーと陸上の長距離走を していたので、スポーツのつながりで友達をつくる ことができました。陸上は3月がシーズンスタートで、 100人以上が所属する校内のチームに参加しました。 記録会や大会が週に2回あったのでシーズン中は 忙しかったですが、それと同じくらい楽しく、充実 していました。みんなで練習して大会の後に夜ご飯 を食べに行ったりして、楽しい思い出ができました。

将来は、アメリカなど日本以外の国で生活して、 留学中に会った人達にももう一度会いたいです。

### 伊藤 咲春 (Sue) 丸山ハイスクール

9月~翌年6月

書類選考

合否発表

7月 留学に出発

オリエンテーション

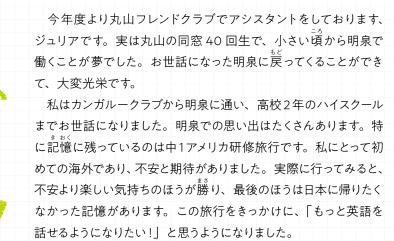
オハイオ州に留学して通っていた学校は、自分が 将来就きたい仕事について詳しく学ぶことができる 専門学校のような学校でした。私は園芸コースに所 属していて、友達と毎日切磋琢磨し合いながら、新 しいことに挑戦しました。アメリカで農業を志す学 生の組織「FFA\*」でのイベントでは、同じ制服を 着た何百人という学生が同じ目標を持って一緒にイ ベントに取り組むことで生まれる一体感に、心から 感動したのを覚えています。

また、1年間一緒にホームステイをしていたブラジ ル人留学生と一緒に笑ったり泣いたりしながら過ごし た日々も、お互いにとって大切な思い出となりました。

この留学は簡単なことばかりではなく、時には逃 げ出してしまいたいと思うことも多くありましたが、 私に愛情を持って接してくれた人達のおかげで乗り 越えることができました。本当に感謝の気持ちでいっ ぱいです。

※ FFA = Future Farmers of America





ここで働こうと思った理由は、純粋に明泉が好きだからです。小さ い頃から英語に触れて、年齢を重ねるごとに英語が好きになってい きました。そのため、大学でも英語や英語圏の文化・文学について 学びました。その学んだ知識を活かして明泉に貢献していきたいです。

明泉で働いていると、どの先生方も子供達のことを第一に考えて いるのが感じ取れます。だからこそ、私は明泉を好きになったのだと 実感しました。これからは、明泉に「恩返し」ができるように日々努 めてまいります。私を見かけた際にはぜひ気軽に声をかけてください!

また私は、新しい天と新しい地を見た。以前の天と以前の地は過ぎ去り、もはや海もない。私はまた、大きな声が御座から 出て、こう言うのを聞いた。「見よ、神の幕屋が人々とともにある。神は人々とともに住み、人々は神の民となる。神ご自身 が彼らの神として、ともにおられる。神は彼らの目から涙をことごとくぬぐい取ってくださる。もはや死はなく、悲しみも、叫び 声も、苦しみもない。以前のものが過ぎ去ったからである。」 ヨハネの黙示録 21章 1,3-4節

# ケーティ先生が 天に召されました



お別れの会の動画を

生徒4人のスピーチを含めた こちらからご覧いただけます

5月13日(土)に500人ほどが参列する中、「お別 れの会」が明泉のホールで行われました。お別れの 言葉を話したいと申し出た生徒が多数おり、4人 の生徒が英語で自分の思いを語り、そのスピーチ もとても感動的なものでした。会終了後には、 参列者の多くが列をなして会場前方に安置され ていたご遺体にお別れをしました。その後も会 に参加できなかった方が多数駆けつけ、その列

10日に天国に召されました。38歳の若さでした。ケーティ先生は大学卒業後すぐ明泉に来て、16年間にわたって

プリミアスクールの先生、主任、トレーナーなどを務め、ここ7年間は丸山の主事として、重要な働きをしていました。

とても温かい優しい心の持ち主で、同僚や園児・生徒からもとても慕われていました。大事な職員を失い残念でなり

ませんが、多くの子供達に注いでこられた愛情は、将来きっと多くの実を結ぶことになると信じています。



は会の終了後1時間半も続きました。



ある保護者の方から、「これまでいろんな葬 。 儀に参列してきたが、悲しみだけで終わらず希 望を持てる気持ちになれたのは今回が初めてで す」といった言葉をかけられました。イエス様 を信じて罪の赦しをいただいている人にとっ て、この肉体の死は「終わり」を意味するもの ではないからです。別れからくる寂しさや悲し みがあっても、本人はこの地上の煩いや苦しみ 悲しみから解放され、魂がイエス様の御許で喜び にあふれていることを考えると慰められます。 また、聖書に預言されているイエス様の再臨の 時には、新しく、朽ちることのない、また老い

ることのない、素晴らしい体をいただけると約 束されています。私達も、同じ信仰によって、 やがて天国で喜びの再会ができること、共に神 様が造られる新しい天と新しい地を相続し、永 遠の命にあずかることができることを考える と、そこには喜びと希望があります。

「まだ若いのに、どうして神様はこのタイミ ングでケーティ先生を天に召したのか」と考 える人もいるでしょう。神様がなさること許さ れることは、我々にはわからないことが多くあ ります。新しい栄光ある身体になって、神様の 御許に行って初めて理解することも多くあるで しょう。イエス様は次のように語りました。

まことに、まことに、あなたがたに言います。 一粒の麦は、地に落ちて死ななければ、 一粒のままです。しかし、死ぬなら、豊かな 実を結びます。

<ヨハネの福音書 12:24 >

イエス様自身が、私達に救いの道を備えるた めにご自分の命を捧げてくださいました。この イエス様の言葉は、ケーティ先生の死につい ても当てはまるのではないでしょうか。ケー ティ先生を知っていた多くの子供達や保護者の





方が、今回のことを通して神様に心が向き、ケー ティ先生と同じ信仰を持つようになれば、ケー ティ先生の「早すぎる死」も、大きな価値があ り意味のあるものとなるでしょう。

今回の「お別れの会」後のフレンドクラブ、 プリミアスクールエレメンタリーとハイスクール の聖書の話の際に、子供達には、「神様を信じ、 神様に自分の罪を告白し、イエス様の十字架の 救いを受け入れているなら、ケーティ先生同様 に罪が赦され、永遠の命が約束されています。 そして、やがて天国でケーティ先生と喜びの再 会ができます」と伝えました。

私の心からの願いは、明泉に通っているすべ ての子供達とその家族の皆さんが、いつも神様 に心を向け、罪の赦しと永遠の命をいただき、 天国の希望と心に平安を持って日々を過ごすこ とです。それは、きっとケーティ先生の願いで もあると信じています。







「読む」とつながる。「読む」とひろがる。 **Summer** 







発行:宮城明泉学園 www.meysen.ac.jp

ORIES of SUMMER at MeySen

FAMILY MEMORIES of SUMME



5月 13 日高森、20 日丸山で、年少ファミリーデーを 行いました。入園して1カ月、<mark>幼稚園にも少し慣れてきた</mark> 年少児達が、家族と一緒に登園して楽しい1日を過ごすことで、 ますます幼稚園を好きになってもらうためのイベントです。

> トロッコ遊びやパズルコーナー、体育コーナー など、おうちの人と一緒にさまざまなアトラク ションに挑戦して遊びました。

お昼ごはんは家族みんなでグラウンドへ。 朝から先生方が焼いてくださったパテを はさんでハンバーガーを作り、フランク フルト、焼きそば、フルーツポンチ もいただいて、おなかいっぱい、 思い出いっぱい、大満足の 年少さんでした。

フレンドクラブとプリミアエレメンタリーでは、参観日を かねて毎年1学期にフレンズデーを開催します。今年もた くさんのご家族が、緑美しいキャンパスで食事をしたり馬・ ポニー乗りなどしながら、初夏の一日を過ごしました。

園の先生達は夏の行事を心待ちにしています。

図の元エ連の友い11年にいる。 アレンドクラブヤプリミアエレメンタリーの皆さんは、キャンプ・旅行で 先生やクラスメートとたくさん英語で会話しましょう。 年長さんや K5 さんは、お泊りキャンプが楽しみですね!

フレンズデーは、開園してまもなくフレンドクラブの参観 日として始まりました。当時から、参観の前後に楽しんで もらえるよう馬乗りや馬車乗りを実施していましたが、そ の後は食べ物の提供、お母さん達のサークル展示や出店、 バンド演奏、明泉グッズの販売なども加わり、より一層に ぎやかでお祭りのような一大イベントになりました。

年長・K5 の皆さん、来年はフレンズデーを一緒に楽し みましょうね!



フレンズデーの 移り変わり



## アルパカのモカちゃん

丸山の馬小屋に新しい仲間アルパカが加わりました。最初は少し緊張していましたが、 2週間もすると子供達にも慣れて、放牧場をトコトコ歩いたり、ちょこんと座ったりする 姿がとてもかわいい8歳の女の子です。名前は Mocha (モカ) です。

アルパカは南アメリカの涼しい高地の 動物なので、モコモコの温かい毛に包 まれています。顔を見るとわかると おりラクダの仲間で、エサを食べる ときの口の動きがとってもユニーク。 仲良くしてくださいね!



中1アメリカ研修旅行をやっと今 年度実施できることになりました。7月22日に丸山 グループ、29日に高森グループが3週間の研修に出

毎回、参加者から感想文を集めると、ホームステイ について実にたくさんの生徒が「始まる前はとても不安 だったけれど、研修で一番思い出に残った」と書いてい ます。この3日間のホームステイは、言葉も習慣も違うア メリカ人家庭に入り、家族の一員として自分で考えながら 行動する、とても貴重な経験です。

生徒が安心してホームステイに臨めるよう、ホストファミ リーを募集し選定してくださるコーディネーターの方々6名 とそのご家族が6月19日にアメリカから来園し、幼稚園・ プリミアの保育や誕生会を見学されました。



## Jonさんからのメッセージ

が 仙台と東京を訪れ、景色も食事もとてもす ばらしかったですが、何より一番感動したのは美 しい明泉の両キャンパスでの見学でした。

今度は中1の皆さんがアメリカに来る番です!シアトル の夏は過ごしやすい天気の日が多く、美しい景色も 楽しめます。楽しい活動と食べ物を用意して、 待っていますよ!



# Leaders In Trainingプログラム







▲ユニフォームTシャツが渡されました

2023 年度、中2~高2の同窓生から希望者を募って選抜し、「Leaders In Training」プログラムが始まりました。これまで同窓会にはボランティアとし て園の行事をサポートしてもらっていましたが、このプログラムでは、責任感や リーダーシップの育成に最適な年代の同窓生に、「保護者や子供達に喜んでも らえるように」という園と同じ思いで先生達と行事を運営しながら、ソーシャル スキルを身につけてもらうことを期待しています。

フレンドクラブやプリミアエレメンタリーの夏のキャンプでも活動しますので、 後輩の皆さんはぜひ気軽に声をかけてくださいね!



Q:明泉の園庭では、季節ごとに色とりどりの草花が咲きます。











正解者には抽選で、メタモカラーマグカップ (各園 1名)、メモパッド (各園 2名)をプレゼントします。 りょうしょう ※ハイスクール、プリミアハイスクール、文法クラスは応募の対象外とさせていただきます。どうぞご了承ください。

202号のクイズへのたくさんの ご応募ありがとうございました。 応募数124名、正解者は113名でした。

明泉ウォーターボトル当選者 丸山:年中 井上湊森さん 高森:年少 菊地美琴さん

明泉オリジナルメモパッド当選者 丸山:年長 湯瀬結葉さん、フレンド2年 山岸櫂人君 高森:年少 鈴木悠生君、年長 石橋美瑚さん















